

令和6年度 公開授業のご案内(冬)



富山大学教育学部附属中学校

本校では校内研究授業と事後協議会を公開しています。今回は、「技術科」「社会科」「理科」「英語科」の公開授業と協議会についてご案内いたします。ぜひ多くの先生方にご参観いただき、これからの教科教育についてのご意見を頂戴したいと思います。

研究主題 主体性の高まりをめざす課題学習 －「見方・考え方」を働かせ、「深い学び」を実現する授業づくり－

2月13日(木)			
教科	単元・題材名	授業学年	授業者
技術科	「これからの生物育成の技術」 安全な食料の供給、食材の周年供給を目的とした環境保全型の生産システムである「植物工場」の建設プロジェクトを、「管理作業を機械化することによってどのような社会問題を解決することができるのか」を課題として遂行します。本時では、プログラミングによって制御した植物工場の模型の動作発表をし、課題を解決しているかどうか検討したり、さらなる工夫を見付け出したりする授業をしたいと思います。	3年	寺崎 明則
公開授業	13:30～14:20(5限)		
協議会	14:30～15:20(6限)		
2月13日(木)			
教科	単元・題材名	授業学年	授業者
社会科	地理的分野「ヨーロッパ州-エネルギー問題から見るEU-」 単元を貫く問いとして、「EUは今後拡大するべきだろうか、縮小すべきだろうか」を設定し、本時では、近年のドイツの電気料金が上昇した理由を考察します。それを踏まえて、 ①EUとロシアの関係性や中学校地誌でロシアをどう扱うか ②単元内で二度の価値判断場面を設定する単元構成の是非 ③中学1年生の社会科で、エネルギー環境教育をどう位置付けるか 以上3点を中心に、参会者の先生方と協議できればと思っています。	1年	早川 晃央
公開授業	13:30～14:20(5限)		
協議会	14:30～15:20(6限)		

裏面にも案内が続きます。

2月14日(金)

教科	単元・題材名	授業学年	授業者
理科	「地層～大地から過去を読みとる～」 単元を貫く問いに「呉羽山はどのようにしてできたのだろうか」を設定し、生徒が問いや課題を見だし解決していく学習を行います。本時では、歯科印象材を用いた疑似的なボーリング調査の活動から、地層の広がりを考える活動を行います。歯科印象材を用いることで、地層の広がりを空間的に捉えやすくなり、生徒自らの課題解決につなげる手立てにしたいと考えています。	1年	五十嵐 大輔

公開授業 13:30～14:20 (5限)

協議会 14:30～15:20 (6限)

2月18日(火)

教科	単元・題材名	授業学年	授業者
英語科	「Our Steps to the Next Grade」 1学年で学習した内容を活用し、1年間の思い出と来年度への展望について英語で即興でやり取りします。教師側が生徒に円滑なやり取りをさせるために指導上工夫した点について、ご参会された先生方からご意見いただけたらと思います。	1年	中川 拓也

公開授業 13:30～14:20 (5限)

協議会 14:30～15:20 (6限)

申し込み方法

右のQRコードから申し込みフォームに入ってください、必要事項を入力の上、送信ボタンを押してください。申し込み締め切りは授業日の前日までですが、当日の参加も可能です。なお、本校のホームページからの申し込みも可能です。

QRコード→



問い合わせ先

富山大学教育学部附属中学校 研究部 本江信一郎

〒930-8556 富山市五艘1300 Tel. (076) 445-2806

メールアドレス hongo@edu.u-toyama.ac.jp